

社会福祉法人「福寿園」機関紙



愛と感謝と奉仕

ひまわり



第15回 福祉の絵手紙 最優秀賞受賞作品 角森 玲子 様

- 2 ▶ 3 祝開設30周年記念
豊田福寿園文化祭開催
- 4 田原文化祭・ちたフェスタ開催
- 5 第10回福寿園職員海外研修旅行
連載●マジックワード紹介
- 6 連載vol.33●[記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 7 ▶ 9 各施設トピックス
- 10 ▶ 11 福寿園ニュース
- 11 家族会だより
- 12 連載●New ひまわりギャラリー
連載●ボランティアさんいつも
ありがとうございます
連載●外国人介護福祉士候補者
リレーインタビュー

142号

平成30年11月10日



30周年記念式典・文化祭

豊田福寿園

福寿園が田原市以外に初めて事業

展開をした豊田市の施設、豊田福寿園が30周年を迎えることができました。開設と同時に豊田福寿園に奉職

した私は、創立者の山田都企子名誉理事長から豊田市で事業を始めるにあたり、大変な苦勞もあったとのこと話を聞きました。そして夢と理想、

老人福祉への熱い想いとご指導を直接頂き、振り返ればあつという間の

30年でした。名誉理事長の指導は厳しい時も多くなりましたが、その反面、たくさん思いやりや優しさが

あり、私達職員は日々励まされ、子供のようにかわいがってもらいました。今思えば、その時の厳しい指導があつたからこそ、今の自分がこうして福祉の仕事が続けられていると感謝の思いばかりです。

名誉理事長の教えは、困っている人がいれば手を差し伸べるというお考えで日々施設運営をされています。それが職員にしっかりと浸透していると感じた出来事がありま

した。ある日のことです。名誉理事

長が不在の夜間遅い時間に、豊田市役所から、路上に倒れていたお年寄りの受入依頼の連絡が施設へ入りま

した。夜勤職員はすぐに「お引き受けします。」と返答をしました。豊田市役所も「大丈夫ですか？」と聞きなおしていましたが、職員は「名誉理事長ならばお引き受けすると思

いますので、大丈夫です」と話をしました。この出来事があつたことで、私達職員は日々名誉理事長が言ってみえた「困っている人がいれば、なんでもしていこう」と士気が上がったことも思い出されます。そして、

このことが語り継がれ、職員一人ひとりが福寿園の「愛と感謝と奉仕」の心を胸に、30年が過ぎました。

そして、30周年記念式典文化祭を迎えました。この30年間は、豊田市をはじめとする各種団体、業者、地域の皆様のご協力があつての30年です。皆さんに感謝するとともに、30年の間に勤め、退職した職員も招

きたいと思い企画をしました。

福寿園をはぐくむ会「未来」主催の第3回目となる「福祉の心絵手紙」には、豊田市をはじめとする各団体から後援をいただきました。豊田市にある施設の中学校区の小学校9校に、幼いときから福祉の心をはぐくんでもらうことを目的に進めています。



豊田福寿園 30周年記念文化祭



す。今回は豊田市長さんにお忙しい
中式典に参加していただき、市長賞
に選ばれた小学生に直接お渡しして
いただきました。他にも豊田市議会
議長賞、豊田市教育委員会賞、豊田
市社会福祉協議会会長賞、福寿園を
はぐくむ会会長賞、福寿園理事長賞
と各来賓の方から小学生に直接お渡
ししていただきました。今後この
活動を続けていき、子供たちに福祉
の心が育っていくことを願います。

午後の部は、「次世代に受け継ぎ
たい想い」と題して、私から施設長
補佐を中心とした次世代の職員にメ
ッセージをいれ、次世代の職員の夢

豊田福寿園 30周年記念文化祭



を語ったDVDの上映を行いました。
30年前に豊田福寿園で社会人生活を
スタートし、また、長きに渡り働き続
け、福寿園への感謝を示す職員、結婚
出産を経て再び復帰してくれた職員、
日々介護現場で汗を流し自分の夢を
福寿園に重ねる若手職員、これから
の福寿園を背負うべく将来への決意
を示す職員など、どの職員も共通し
て、福寿園を通して介護の世界で働
く誇り、喜びを伝えてくれました。

また、豊田福寿園内で広がるご利
用者、ご家族、ボランティアさんな
ど関係者の方々の笑顔や福寿園への
想いも写真とともに文字に表しまし

た。作成過程において、職員とのか
かわりを楽しみにしていること、夫
婦や親子で過ごすことで喜びや安心
を感じていること、福寿園に通うこ
とを生きがいとしていることなどな
ど、皆さんの福寿園に対する期待を
改めて窺い知ることができました。

介護現場において、辛いこと、悲
しいことを身を持って感じることに
あるなかで、映し出された明るい表
情や想いが込められた文字は、この
30年間福寿園に関わってくださった
方々から、今へと、受け継がれてき
た財産だと思います。私達は、この
笑顔と言葉をこの先も受け継いでい
きます。

最後は、川中美幸さんの歌謡
ショーでした。多くのお客様に
埋め尽くされた会場の後方から
ご本人が登場され、大きな拍手
と歓声に包まれながら始まりま
した。川中さんは終始お客様に
問いかけたり、手を振ったり、
また途中には、感極まったご利用
者とともに涙ぐまれることが
あったりと、笑いあり、涙あり
のとても温かい時間となりました。
会場を後にされても、拍手
は鳴りやまず、楽屋に戻る前に
会場では観覧されていなかった
ご利用者のもとにも特別に立ち
寄られ握手を交わし、声をかけ

てくださるなど、川中さんの優しい
心遣いに触れました。

30周年文化祭を開催するにあたり、
この日を迎えるまでに豊田福寿園に
関わってこられた多くの方、そして
今なお豊田福寿園に対して深いご理
解ご協力をいただいている多くの方
に、「感謝」の想いがより一層募り
ました。私達福寿園職員は、ご利用者、
ご家族、地域、多くの方々とともに
あることを、今一度胸に刻み、今後
も歩んでいきたいと思っています。

30年間、本当にありがとうございました。
また、そして、これからもよろし
くお願いいたします。

(施設長 傍嶋博志)



第28回 福寿園文化祭

養護盲・田原福寿園

トンボが風舞う秋空の10月7日、第28回福寿園文化祭が行われました。

15回を迎えた福祉の心絵手紙表彰式後、養護盲福寿園入所者による器楽・大正琴クラブの演奏発表がありました。また、点字・陶芸・書道クラブなどの作品展示や、恒例の餅投げやバザーもあり、地域の方々と賑わいました。午後は、成章高等学校吹奏楽部の若さ溢れる演奏の後、元相撲力士・大関の増位山太志郎さんの特別ショーとなりました。ヒット曲「そんな夕子にほれまして」から新曲「港です 女です 涙です」まで、甘く響く歌声に会場は魅了されました。軽快なトークや、往年を思わせる浴衣姿もあり、皆さんの笑顔と拍手で沸き立ちました。



ちたフェスタ

10月21日、今年4月に開設したばかりのちた福寿園で「ちたフェスタ」がよつと来てみてのしんどーを行いました。当日は晴天にも恵まれ、素晴らしい一日になりました。飲食バザーやゲームコーナーはもちろんのこと、野外ステージでは、福寿園職員サークルのビッグバンド「LTSジャズオーケストラ」が初お目見えとなり、総勢19名の演奏は大迫力でした。午後からの仁志川峰子さんの歌謡ショーは、入場前から長蛇の列となり、250名満席の歌謡ショーとなりました。楽しいお話と素晴らしい歌声で、ご来園された皆様が自然と笑顔になってみえました。

ちた福寿園



第10回福寿園職員海外研修旅行

フィリピン



今年で第10回目を迎える海外研修は、9月29日～10月3日の5日間、フィリピンのマニラとダバオを中心に、古田会長の同行のもと、職員15名で行ってきました。4時間のフライトで空港に到着すると、熱気のような蒸し暑さを感じ、移動する車中から見えるマニラ市内は大変に活気があり、交通量が非常に多く、人々の荒い運転にはハラハラするばかりでした。

ミンダナオ国際大学に開講している福寿園日本語クラスも今年で4年目を迎えており、今年も介護技術を中心とした交流授業を行いました。どの生徒たちも積極的で、「日本で活躍したい、家族を幸せにしたい」との思いが一人ひとりの輝く目から伝わってきました。これから迎え入れる技能実習生を含め、



受け入れる私たちのサポート体制が重要であることを改めて感じる瞬間でした。

また、観光では、第二次世界大戦時に日本軍が占領していたコレヒドール島を一日かけて巡って来ました。当時の資料館・記念碑もあり、戦争の悲劇の上にある今の幸せな日本の生活を思い、全員で手を合わせました。

今回の研修を通して、フィリピンの自然や文化、戦争での悲惨さを学びながら、日本との関係性もより身近であることを知ることができました。「介護」が相互の発展のためになるように、今回のフィリピンでの貴重な体験を活かしていきたいと思います。

連載②

介護現場で生まれた マジックワード100

老人福祉施設のスタッフや入居者の生の声から
紡ぎ出された小さな物語の数々

福寿園が発行した書籍『介護現場で生まれたマジックワード100』について、皆様よりお陰様で多くの反響が寄せられました。1ワードずつ感想を添えてご紹介します。



ゆっくり、ゆっくり時間をかけて。

安江さんは、自宅で腰椎を骨折して入院し、退院後にデイサービスを利用することになりました。当初、「私はこのまま歩けなくなってしまうのかな」と寂しげに話していました。そういうときには「頑張りましょう」と声をかけがちですが、私は「一緒にゆっくり、やりましょう」と話しかけます。

「ゆっくり、ゆっくり時間をかけて」。

以前のように過ごしていけるように、私も協力しますという思いを込めて話します。安江さんは、じっくりデイサービスでリハビリに励んできた成果が現れて、腰痛も治まり、歩行もしっかりしてきました。

(デイサービスセンター・介護職員)

・ 本人のペースに沿ったケアが大事だと、改めて思いました。

・ 気持ちが沈んでしまった時、こういった言葉をかけてもらえると嬉しいと思いました。

・ 言葉の使い方、言葉の選び方とても大切でむつかしい。相手のことを考え、思いやる言葉を、私もかけていきたいと思いました。

連載 33

記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。



友人たちと、どんな人のところにお嫁にいけるか、相手はどんな人だろうとワクワクしながら話していましたが、やはり二人しかいない姉妹の長女だったので、嫁には行けず、私の家へ婿に来てもらう事になりました。嫁いでいく友人たちがとてもうらやましかったのを覚えていますし、今思い出してもうらやましいという気持ちが少し出てきます。お嫁に行きたかったけど、仕方がなかったですね。

「本当に来てくれる人がいるのか」と心配していましたが、見合いのような形で結婚した相手は学校の先生をしているとても優しい人で、息子2人も産まれ4人家族になりました。親としては一緒に味噌を作ってもらいたかったかもしれませんが、そのまま勤めに出てもらい、私が店の手伝いをしました。

私は昭和10年4月20日に愛知県田原市で二人姉妹の長女として生まれました。もともと父の実家が味噌醤油の製造をやっていて、両親もそこで働いていました。味噌を作るには、まず大きな釜で豆を炊いて、それをさらに大きな樽に仕込んでじっくり発酵させないといけないんです。それはもう大きな樽で、小さいときは仕事に行く母の後についてよく見に行ったものです。

高校まで出て、そのあと私は信用金庫に、妹は町役場に勤めました。



山口 芳子
(ケアハウス パシフィック)

プロフィール

生年月日：昭和10年4月20日
出身：愛知県田原市
趣味：短歌、連句、カラオケ

ケアハウスパシフィックへ来ることになりました。だんだんボケてきてはいますが(笑)、ときどきは天国にいる両親や夫のことを思いながらも、大好きな短歌を詠んだりして楽しく過ごしています。

言葉なき 月に想ひを 促され
我は夢想に 癒しを受くる



各施設 TOPICS トピックス

ちた福寿園

神出鬼没のいもむし君

ちた福寿園には、いもむし君がいます。折り紙のいもむし君は、ディスプレイの入り口や、事務所前のマガジンラックなど、様々な場所に現れます。今は受付で、来園される方をお迎えしています。施設にお越しの際は、ぜひ神出鬼没のいもむし君を探してみてください♪



田原福寿園

レクリエーション大会開幕!

はちまきを巻いた表情は真剣そのもの!新館の入居者レク大会が、ひまわりホールにて盛大に行われました。赤組・白組に分かれ、風船リレーや玉入れ、パン食い競争ならぬ

パン取り競争など、白熱した競い合いが続く中、試合を制したのは白組でした。歓声と笑い声が響く中、久しぶりに体を動かし、気持ちのいい汗をかいた一日となりました。



ひまわりの街

竜神こども園交流会



10月11日、竜神こども園の園児たちとの交流会が開かれました。年に2回、ひまわりの街に遊びに来てくれますが、今回は運動会に向けて一生懸命練習したロックソーランの披露や、肩たたきなどをして園児たちと交流しました。普段子どもたちと触れあう機会がありませんので、皆さん見たことのないくらいの笑顔で喜ばれていました。

豊田福寿園

部屋がとっても明るくなったね!

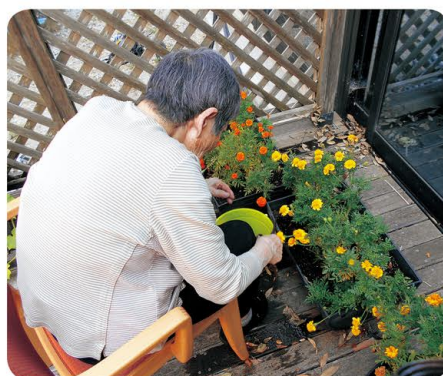


10月12日、井郷地区の民生委員さん8名が来園され、豊田福寿園の障子の貼り替えを行ってくださいました。この時期の恒例行事となっており、民生委員さんの手つきはプロ並みです。きれいになった障子を見て、部屋の入居者の方から「やっぱり張り替えると部屋が明るくなっていいね!」と大好評でした。毎年本当にありがとうございます。

ケアハウスパシフィック

新しい花壇ができました

入居者さんの中には、花が好きな方が大勢います。敷地内には畑や花壇があり、皆さんそこで好きな花を育てているのですが、そこまで歩いていくのが難しい方にも楽しんでいただけないかと思い、日中過ごされるホールの横に、小さな花壇を作りました。「古い花を摘んでおくと、また新しくきれいな花が咲くんだよ」と、職員に教えてくれながら、一生懸命手入れをされています。



みんな笑顔で夕涼み

9月26日夏の暑さも少し和らいだ夕方、入居者・ご家族と一緒に夕涼み祭を行いました。今年は台風により夏まつりができなかった分、何か代わりになることはできないかと、職員で話し合い企画しました。屋台やゲーム、やぐらを囲っての盆踊りでもみんな笑顔に。最後に菓子まきを行い、手作り感のある温かい行事をみんなで楽しむことができました。



ひまわり邸

消防署との合同防災訓練

9月25日、豊田市



北消防署と合同で防災訓練を行いました。地震発生を想定した初動、消火、避難救命訓練を実施。消防隊にどんな情報を引きついたら良いか、消火器の設置場所等、まさかの時の良い備えとなりました。昼食には非常食のひじき煮が出ましたが「味が濃いくど意外と美味い」との声が…。職員、利用者全員で防災について考えた日となりました。

地域住民との合同救急訓練

9月14日、半田消防署武豊支所の救命士を講師に招き、地域の皆さんとの合同救急訓練を開催しました。大規模火災時における避難・救助について、地域住民の協力が必要となる場合も考えられます。今回は主に、AEDと人体模型を使った救命講習を行いました。地域の方と職員が訓練を通じ交流することで、施設に親しみをもち、また、利用者と触れあえるような機会を提供することで、今後も良好な関係を築いていきたいと思っています。



秋の味覚祭

10月16日に昭和の里デイサービスセンターにて秋の味覚祭を行いました。毎年恒例の産地直送大船渡の秋刀魚が登場し、他にもホクホクの焼きいもや松茸のお吸い物、季節のキノコ料理各種に舌鼓を打ち、秋の味覚に皆大満足で幸せなランチタイムとなりました。



養護盲福寿園

弾ける美味しさ

今春に種をまき、丹精込めて育てたとうもろこし（爆裂種）で、ポップコーンを作りました。皆さんで一粒づつ外し、熱々のフライパンに投入し、数分待つと…ポンポンと勢いよく弾ける音と香ばしい匂いが一気に広



がりました。ふっくら膨らんだ熱々のポップコーンを口に頬張り、「こんなに美味しいのは初めて！」と笑顔も弾けました。

田原ゆの里

渥美混声合唱団コンサート

秋晴れの午後、玄関ホールには、渥美混声合唱団の素敵な歌声が響きました。唱歌など馴染みのある歌は、手拍子とともに一緒に歌い、足でリズムをとる方、「感動して、涙が出てきたよ」と、笑顔で話してくれる方もいました。普段あまり体験できない素敵なハーモニーを間近で聴くことができ、楽しい時間を過ごしました。



花の里

秋の運動会

傘を使った玉入れ大会を行いました。初めは「どうやるの?」「うまくできるかね」と言われる方が多く、楽しめる心配でしたが、心配をよそに、「もっと入るぞ!」と応援の声が響き渡るほど盛り上がりました。「頑張れ!」イスから立ち上がり玉を入れる利用者さんや、帰られる際「楽しかった」と話される姿を見て、嬉しく思いました。



東海福寿園

防ごう!冬の感染症

10月16日、養護老人ホームの入所者向けに、感染症予防についての勉強会を行いました。インフルエンザやノロウイルスにかからないためには、基本の手洗いやうがいをしてしっかりとすることが効果的です。手洗いチェックカードを使い、普段の手洗いがどのくらいできているかを確認してもらうと、思った以上の洗い残しに、皆さん驚かれていました。



みなみ福寿園

みなみフェスタ・ファミリィ

10月7日に、みなみフェスタ・ファミリィを開催しました。今回の目玉は何と言ってもマグロの解体ショー!目の前に置かれた40kgのマグロがあつという間に、解体されていく光景に、会場の利用者やご家族は大盛り上がり!次から次へと出てくるお寿司はあつという間になくなってしまいました。その後の餅投げも大盛況となり、来園された皆さんの笑顔の絶えない一日となりました。



ケアハウス 武豊

おはぎ作り

昔は小豆からあんこも作って色々されてきた方々ばかりですが、今回は厨房職員にあんこ作りを任せ、炊き上がったもち米を丸めてあんこで包み、おはぎが完成しました。昔話に花を咲かせながら、作りたてを美味しくいただきました。次は何を作るかと言う質問に対して、「みたらし団子!」と即答で返事が返ってきました。次のおやつ作りも楽しみです。



ケアハウス きぬうら

1.5kmの真つ赤なじゅうたん!

9月21日と24日に、童話作家・新美南吉で有名な、半田市岩滑にある矢勝川堤に出かけました。着くと、一面真っ赤な彼岸花が咲いており、「キレイなじゅうたんみたい」「キレイな赤だね」などの声が飛び交っていました。彼岸花やでんでん虫をモチーフにした田んぼアートもあり、よく歩き、よく笑い、共に秋を満喫した散策となりました。



第7回施設対抗レクリエーション大会開催

9月9日、豊橋創造大学アリーナにて施設対抗レクリエーション大会が開催され、職員とその家族、総勢296名が参加しました。法人内施設を9つのチームに分け、玉入れ、綱引き、女戦（椅子取り）・男戦（騎馬戦）、長縄とび、〇×クイズ、サバイバルリレー（パン食い、ドリブルシュート、三輪車競争、手押し車競争、三人四脚）の6種目を



競い合いました。優勝は、昨年に引き続き、渥美福寿園・花の里・あい福の里合同チームが勝ち取りました。他施設職員とも親睦を深めることができ、大人も子供も楽しめた一日となりました。

24名の留学生が来日!

フィリピン・ベトナム現地ににて日本語を1年間学習し、N3のレベルに達した留学生24名が9月末に来日しました。10月1日に本部にて歓迎会・オリエンテーションを行ったのですが、前日に大型台風が通過し、本部は停電中。福寿園始まって以来、停電の中での行事【留学生歓迎会】となりました。緊張の中、一人ずつ1年間学んだ日本語で自己紹介を行い、食事をとりながら職員との交流、田原福寿園の見学をしました。これから日本語学校・介護福祉士専門学校とまだまだ留学の期間は長いですが、将来、一緒に介護の仕事ができることを楽しみに待っています。



新入職員第二次研修会

10月2日、各施設の新入職員54名を対象に、ひまわりの街にて新入職員第二次研修会を開催しました。勤務して半年を振り返っての講義。4月の新入職員研修ではあまり理解できなかった専門的な講義も理解していた姿に、成長が伺えました。これからは新入職員ではなく、一人前の職員として活躍してくれることを期待します。講義終了後には、半年ぶりに顔を合せた同期達と互いに近況報告し合う姿も見られ、研修、職員間の交流と、充実した1日となりました。



スピーチコンテスト

豊田福寿園



9月29日、介護にかかわる外国人のための日本語スピーチコンテストに、豊田福寿園のジリアンさんが出場しました。

《本人よりコメント》

私はとても緊張して、心が太鼓のように強く鼓動しましたが、好きなご利用者の顔が頭に浮かび、心が強くなり、最後までスピーチすることができました。そのおかげで、二位を受賞することができました。これからも、いろんなことに挑戦して、勉強と仕事を頑張りたいと思っています。

目で見て学びます ～社会見学ツアー～



来年度、介護福祉士国家試験を受験するEPA候補者が豊田市の障害者施設を見学しました。完全オーダーメイドの車いすを見せてもらったり、施設の職員さんから説明を受けることで、障害者について理解を深めました。その後、話題の名古屋城本丸御殿も見学し、絢爛豪華な装飾に目を輝かせて見入っていました。

なかなか障害者の方と触れ合う機会がないため理解が難しかったのですが、自分の目で見て障害を理解し、日本の歴史も感じることができました。全員で国家試験に合格できるよう頑張ります。

第15回福祉の絵手紙

第15回福祉の絵手紙作品募集では、598点もの作品をご応募いただき、ありがとうございました。厳正なる審査の結果、各賞が決定し、10月21日のちたフェスタにて表彰式が行われ、受賞者へ賞状と副賞が贈られました。

今号より、受賞作品を表紙にてご紹介させていただきます。今回は最優秀賞の角森玲子様の作品です。



豊田スタジアム サッカー観戦



今年も、豊田スタジアムで名古屋グランパスの団体観戦をしてきました。32,000以上のサポーターが集まり熱気に溢れる中、ゴールを外すと、「オー」という大歓声。敵にゴールを入れられても、さらに大歓声。地元愛の素晴らしさを肌で感じた試合でした。これからも職員皆で楽しみながら応援していきます。名古屋グランパス頑張れ!!

宮田村へりんご狩りに行ってきました

長野県の宮田村へ、法人がオーナー契約をしているりんごの木の実収穫祭に行ってきました。当日は天候も良く、各地区から家族連れで51名が参加。中央アルプス駒ヶ岳のふもとに広がるりんご園で、完熟したりんごの収穫を楽しみました。収穫後は全施設で提供され、甘～いりんごを皆で美味しくいただきました。



家族会だより

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

田原ゆの里 花火鑑賞ビアガーデン

毎年好評の家族会主催、田原花火鑑賞ビアガーデンが行われ、21家族75名ものご家族の参加がありました。屋上のビアガーデン会場にて、生ビールや焼き鳥を片手に、間近に見える大きな花火に歓声や拍手が鳴り響きました。ご家族の協力もあり、職員も一緒に、楽しい秋のひとときを過ごすことができました。ご参加ありがとうございました。



渥美福寿園・花の里 家族会草取り



10月20日、渥美福寿園・花の里で家族会の皆さんと草取りをしました。渥美福寿園では、来年の開花に向けて紫陽花の周りを中心に草取りをしました。花の里は、猛暑が続いた今夏、花壇を彩ってくれた花も植替え時季となり、花壇の整備をしました。作業終了後は、渥美福寿園で懇親会を開き、すき焼き鍋を囲みゆくりとお話ができるしました。ご家族の協力により、紫陽花は来年も綺麗に咲き、花壇は綺麗に植替わると思います。お忙しい中ありがとうございました。

ちた福寿園 家族会フィットネス体験

9月2日に、フィットネス体験会を行いました。普段、介護予防デイサービスで使用しているリハビリ機器ですが、特養とグループホーム利用者の方にもリハビリとして使うことがあるため、どのような機器があるか知ってもらう機会を作りました。体験後はグループホーム利用者で作った手作りおやつを食べながら、職員、ご家族で談笑し、親睦を深めることができました。



ボランティアさんいつも ありがとうございます。

日頃、施設でお世話になっています
ボランティアさんを紹介させていただきます。

ケアハウス きぬうら

体操クラブ サンフェローズの皆さん



毎月第一火曜日にデイサービスへ来てくださっている「サンフェローズ」さん。三名の講師でみえ、一時間みっちりと身体を動かすお手伝いをしてくださいます。醍醐味はなんといっても先生方の元気がいいことです！大きな声、全身を使っての体操になるため、食後の身体を起こすには最高です！利用者さんだけでなく職員も一緒に参加し、フロア内を端から端まで歩いたりしています。終わったあとは心も身体もリフレッシュ！ケアハウス入居者の参加希望も多く、人気のクラブとなっています。

いつもありがとうございます。これからもよろしくをお願いします。



外国人 介護福祉士 候補者リレーインタビュー

福寿園では、現在47名のフィリピン人、7名のベトナム人介護福祉士（候補者）が10施設に分かれて働いています。毎号一人ずつ紹介します。

- Q なぜ日本に来ようと思いましたか？
A 日本の四季や文化が好きだからです。
Q 日本で働いてみてどうですか？
A 日本語が難しいけれど、職員のみなさんと楽しく仕事ができます。
Q 休日は何をしていますか？
A 旅行に行ったり、家でゆっくりしたり、家族とテレビ電話をして過ごしています。
Q 好きな日本食、嫌いな日本食は？
A 好き：抹茶の料理やデザート、嫌い：カレーライス
Q 趣味はなんですか？
A 季節の花を植えて育てることです。今はバラを植えています。
Q 日本で旅行したい場所はどこですか？
A 北海道や九州の観光地に行って美味しい食べ物と、きれいな景色を楽しみたいです。
Q 将来の夢はなんですか？
A 介護福祉士を取って日本で暮らすことです。
Q 最後に一言
A 仕事も大変だけど受験が近いので勉強を頑張ります！

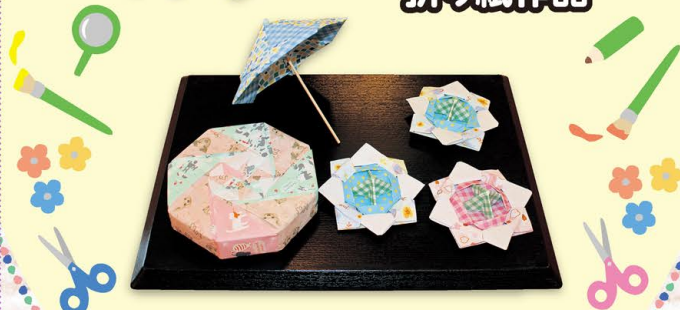


ゴー ティ リュー
ニックネーム
リュー
田原福寿園

New ひまわり ギャラリ

入居者・
利用者さんの作品
をご紹介します。

作品
折り紙作品



ひまわり邸デイサービス利用者

折り紙を通して、皆さんとの交流を楽しんでいます。



平成30年11月10日発行

■発行／社会福祉法人 福寿園

■理事長／山田浩三

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008

<http://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。